



「年末・年始の日本の食文化」

校長 長谷川 美栄子

明日から冬休みです。この時期は、クリスマスを皮切りに大晦日やお正月と行事が盛りだくさんです。また、行事に合わせてその日に食べる特別な料理というのがあります。

例えば、クリスマスにチキンを食べる習慣は、1970年代の高度経済成長期に行われたK社のクリスマスキャンペーンの影響によるもので、近年に生まれた日本独自の習慣です。そもそものルーツは、開拓時代（1860年代）のアメリカにあり、先住民が食糧不足に苦しむ移民に七面鳥を与え、そのお礼に、移民が先住民を招き、感謝の気持ちを込めて食事を振舞ったのが起源だと言われています。

大晦日に食べる年越しそばは、江戸時代中期から始まった習慣です。そばは、他の麺類に比べて切れやすいことから、「一年の厄災や苦労を切り捨てて翌年に持ち越さない」という願いを込めて年越しそばを食べるといのがもっとも有名な説だそうです。そのため、年越しそばは、大晦日のうちに食べ終え、年が明けてから食べるのはよくないとされています。この他、年越しそばの意味には、「長寿祈願」「健康祈願」「金運上昇」「運氣上昇」といったいくつかの意味があるようです。

食べるタイミングという点では、「お節料理をいつ食べるか？」というのがあります。全国的には元旦に食べるのが一般的ですが、北海道や東北、甲信越地方、四国や九州の一部では、「大晦日の夕食として食べる」「年越しそばと一緒に食べる」などの風習があるそうです。（ちなみに我が家は、お節料理を大晦日の夕食として食べる派で、年越しそばを食べるタイミングは、昼食だったり夕食だったりとその年によってちがいます。）

この他、おせち料理の食材にはそれぞれ意味があること、お正月に食べるお雑煮は、地方によってもちの形や味付けが違うこと、各地域特有のお正月料理があることなど、年末・年始の日本の食文化について調べてみるとたくさんの「へー、そうなんだ！」という発見や驚きがあります。

年末・年始に限らず、日本の食文化は、地域によって多様で大変興味深く、世界から注目されています。しかしながら、この食文化も時代とともに変化し消えつつあります。

冬休み、食をきっかけに今まで知らなかった日本が見えてくるかもしれません。また、そういったお話をしながら、子供たちと一緒に年末やお正月の料理を手作りするのも、日本の食文化に触れるよい機会になるのではないのでしょうか。

【地域の皆様へ】12月に入り、連日のように雪が降り積もっています。地域の皆様におかれましては、朝早くから、子供達の通学路の除雪をしていただき、ありがとうございます。子供たちの安全・安心を第一に、日頃から温かく見守っていただいていることに感謝申し上げます。

1月行事予定

10金 meet 朝の会・ICT 家庭学習	20月 二計測
13月 成人の日	21火 野田生中学校体験入学
14火 午前授業（給食なし） 長期休業明け集会	23木 スキー学習
16木 スキー学習	24金 クラブ⑧（スポーツ教室）
17金 児童会 ⑩	29水 5時間授業
	31金 児童会 ⑪

今年の漢字は…（1・2年生）

後期前半があっという間に終わり、今年も残りわずかになりました。今年の漢字は「金」でしたね。パリオリンピックやパラリンピックに出場したアスリートが数多くの金メダルを獲得したほか、大谷翔平選手が3回目のMVPを獲得するなど値千金の活躍だったほか、「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されたことなど、光をあらわす「金（キン）」と、政治の裏金問題や止まらない物価高騰など、影をあらわす「金（かね）」の2つの意味を示しているということです。今年も色々あった1年でしたが、来年はキラキラ金色に輝くような1年になってほしいと願っています。

1・2年生の今年の漢字を考えました。ちなみに私の今年の漢字は、「走」です。目標としていたフルマラソンに初挑戦し、無事完走することができたからです。来年も挑戦して自己記録更新を目指したいです。ぜひ、ご家庭でも今年の漢字について考えてみてください。

歩夢さん

「楽」学校が楽しかったから。でも疲れしました。

葵子さん

「字」ていねいな字を書こうとがんばったから。でももうちょっと丁寧に書きたいです。



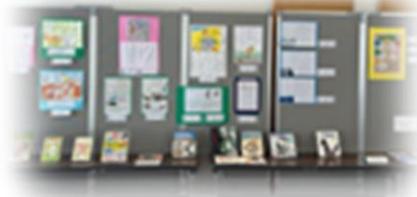
読む・調べる・自分を作る（3・6年生）

12月13日（金）に、八雲町図書館へ見学に行きました。今年度初めての取組として、子供たちが、国語や総合的な学習の時間に取り組んだ学習内容の中から、何点かの制作物をロビーに展示させていただきました。八雲町のラインでもお知らせさせていただいておりますが、本日が最終日となっております。お時間があるようでしたら、ぜひご覧ください。

これまで、教科書の物語や説明文、総合的な学習の時間での調べ学習等、様々な本に触れてきた子供たち。朝読書や昼休みの全校読書での最近の様子から、本を読むことで知識が増えたり、自分が何に興味を持っているのかに気付いたり、読書による自身の変化を実感しているようです。

6年生では、これまでの読書歴を振り返る学習で、「この本がきっかけで、社会が好きになったな。」「〇年生の時の読書で、心温まるお話が好きって気づいたな。」といった感想を述べていました。また、「当時、〇〇について知りたくて、この本を読んだな。」とかつての自分の様子を思い出した子もいました。

これからもたくさん本に触れることで、知識を増やし、興味・関心を高めていってほしいと思います。



図工「コロコロガーレ」くぎ打ち！（あおぞら学級）

4年生は、現在、図工「『コロコロガーレ』くぎ打ち！」を製作中で、背板に絵を描いて、枠や仕掛けを考えながら釘を打っています。

3年生の時に少し触った、かなづちや釘の使い方の注意事項を聞き、慎重に取り組みますが、熱中になりすぎて、時々釘が椅子まで通過することも…。子供たちは、徐々にコツを掴み、最近では、トントンと程よい力加減で釘を打つ、楽しい響きが教室に聞こえています。

この後、アウトや点数が付いているポケットと玉が回転するルーレットを取り付けたら完成です。自分たちが制作した『コロコロガーレ』で遊べるまであと一歩。どんな作品になるか楽しみです。



各種コンクール等の表彰から

今年も残すところあとわずかとなりました。4月から現在までに行われた、各種コンクール等に応募した作品の結果について一挙に紹介いたします。今年も実り多い1年でした。来年も頑張りましょう！

○少年の主張八雲大会 <ライオンズ特別賞>

6年 佐藤 あらた

○八雲町読書感想文コンクール <優秀賞>

3年 湊 花楓

○八雲町青少年健全育成 標語 <優秀賞>

4年 小島 千弦

○火災予防書道コンクール

<八防管協会長賞>

6年 湊 胡桃

<優秀賞>

6年 佐藤 あらた

○どさん子元気アップチャレンジ「短縄跳び全道大会」

<入賞>

2年 勝谷 葵子

3年 湊 花楓

3年 黒島 メイ

6年 湊 胡桃

